

歯を磨けば命が輝く 〜歯原性菌血症の怖い話〜



花田 信弘（はなだ のぶひろ）

福岡県出身 歯学博士
鶴見大学 歯学部 探索歯学講座 主任教授
国立感染症研究所 口腔科学部長を経て現職。
全国各地の大学歯学部の講師を務める。

第11話 口の中のエイリアンに勝つ方法

これまで見てきたように口の中のエイリアンは歯周組織から血流に乗って色々なところにいきます。口の中のエイリアンが母乳へ行くことも考えられます。母乳を作る乳腺房は、そのまわりを血管が取り巻き、血液を材料にして、母乳が作られているからです。

この歯原性菌血症の恐ろしい点は、私たちが気づかないうちにじわじわと進行していることです。その対策として歯磨きを習慣づければよいのかと言えば、話はそう簡単ではありません。口の中の細菌は、一度歯面にデンタルプラーク（バイオフィルム）を形成してしまえば、歯磨きやうがいなどでは簡単には除去することができず、かかりつけ歯科医院による専門的なバイオフィルム除去が必要になります。私たちはこの方法をデンタル・ドラッグ・デリバリー・システム（略して3DS）と呼んでいます。



ここで紹介する「3DS」という方法（ゲーム機の3DSではありません、念のため）は、とても簡単に言えます。口内のバイオフィルムを歯科医院で物理的に取り除いたあとで、毎朝、歯みがきのかわりに、菌型をとって作ったトレイに消毒薬を塗布して5分間装着する、ということを習慣にする、という方法です。これが、歯原性菌血症の予防に、絶大な効果があることがわかっていきますが、まだ広まっていません。ですから、ぜひ沖繩の皆様にご紹介させていただきたいと思っています。

3DSで一時的に無菌状態になった歯面に、頬、舌、歯肉などの軟組織から常在菌が再度定着し、エナメル質や口腔粘膜バリアを破壊する病原性細菌を含まないデンタルプラークが形成されます。つまり、3DSは、歯原性菌血症を防ぐために、自然に存在する細菌を活用しておこなう細菌置換法と言えます。

鶴見大学歯学部附属病院では、3DS除菌外来を設けて、口の中のエイリアンに勝つ治療を実践しています。沖繩では浦添市の「医療法人 なかわか くくる 歯科医院」で鶴見大学と同様の3DS除菌治療を行っています。全国に先駆けて沖繩で3DS除菌外来が広まることを願っています。



鶴見大学歯学部探索歯学講座

〒230-8501 神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-1-3

TEL.045-581-1001

<http://dent.tsurumi-u.ac.jp/>



一般社団法人 口腔除菌協会

東京都港区六本木7-17-10

TEL.0120-59-6480

<http://www.kenko-station.jp>